

業界をあげた人財育成施策としての取り組み

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
人財・ダイバーシティ推進連絡会事務局

企業の「財（たから）」は「人財」というコンセプトのもと、連盟は業界をあげた人財育成施策に取り組んできた。会社を超えた業界内の人と人のつながり、響き合いが、必ずや業界や企業のカチになると確信している。

2014年から実施している「次世代リーダー育成塾」には、今年173人の受講生が参加し、過去5年間でのべ730人が参加、また今年で3年目となる「JCTA WOMAN WORKSHOP」には、昨年秋までにのべ411人が集い、交流している。

こうした取り組みの一環として、2017年より、トップマネジメント層向けの「経営者塾」もスタート。「2018年経営者塾」では、経営デザインシートをプログラムの一環として取り入れ、全国各地から参加した経営者13人が挑戦した。アウトプットの参考ケースとして、3社のシートを紹介する。

■第1回（11/16）プログラム

「経営をデザインする～経営デザインシートによる経営の持続性強化～」の説明

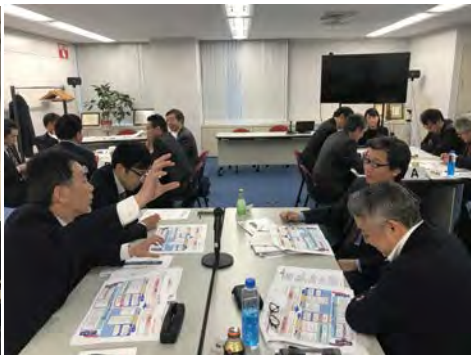


12月末の提出〆切まで、各種補助シートも活用しつつ、各社内ディスカッションの上、シートを完成



■第3回（2/1）プログラム

検討プロセスに関するアドバイスと、評価のフィードバックをした後、グループワークにて、シートの発表とディスカッションをした。



経営デザインシートを活用した感想・効果

今年度の経営者塾では、様々な講義に加えて、グループワーク&発表という仕立てのテーマを3つ用意しました。「コンテンツでブランド価値をいかに向上させるか」「経営者のための事業継続（BC）」そして、内閣府の「経営デザインシート」。企画運営の立場からは、プログラム充実の柱とすることができ、感謝します。

経営デザインシートは、活用される方の臨み方次第で、様々な活用の仕方があることも実感できました。ご自身の思考トレーニング、現経営層を交えてプロセスを踏みながら仕上げる、各部門トップにも同様に課題を課し、最終的にはご自身で集約・・・など。お奨めです!!